

仮説と検証12

1. 原爆の日

今回、「原爆」と「戦争」を十把一絡げにして「戦争反対でいいじゃん」というコメントが目立ちました。これもある意味、判断をしない選択に思えました。(感想です。)

原爆の日について、いくつかのコメントを紹介します。小学校のときの「何故か黙祷させられた」という体験は、生きていたと言えるように思います。将来、このように思うことができるのですから。そういう意味でも、原爆の日は知っておく必要があることではないでしょうか。

日本人である、というだけで共通点はない、という見方もできますね。しかし、日本人だから、知り合いの知り合いの知り合い、とも言えます。また、授業で紹介したマルチン・ニーメラーの詩が思い出して下されい。

についても学びました。私は広島県出身で、子供の時から8月6日午前8時15分に学校で式典を見ながら黙祷をしていました。子供の時はよくわからなかったが、大人になって原子力、原爆のことで改めて学ぶだけならば、その力を知っていなから使う責任があるのだと、今日の授業で感じました。

長崎と広島に原爆が落とされた瞬間を私は思い出せなかった。でも、それは何かならと思ってしまった。なぜなら、被害者と自分達が共通するのは、「日本人」という所だけ。経験していない、被害者と親せきではない自分達にはその苦しみや悲しみはわからないから。自分達が覚えているのは、戦争を起すこと

私の父は広島出身なので、原爆の日時はとても厳しく教えられる。しかも東京ではあまり知られていない？という現象を授業通して知り、悲しく思いました。1945年からまだ100年と経っていないのに、こんなにも「原子力とは」など教えているのに、外国人が知らないならまだしも日本人は全員知っておくべきです。今や、外国人が「知っているのか」。

2. 原発

原子力発電についてですが、私は東北出身で東日本大震災を経験しているので反対です。先生が原発がどうについては選挙権のある私たちにも責任があると言っているのを聞き、選挙に行く重要性に気がさせられました。これまで私は原発再

この授業の受講生ではありませんが、現在、4年生の学生と原発事故について話したことがあります。その学生も被災地出身です。

短くまとめると、「もちろん支援してくれた人には感謝しているが、被災者に対して、日本社会全体としては冷たかったのではないか」ということでした。

今日の授業で原発について学んだ。4月14日地震が起きたと福島に被害があり記憶が曖昧だが一年に一回ほど病院に行きながらお風呂が毎日あったりとか原発による健康被害も知った。お風呂も止まった。

発電所は生命維持にも関わる重要なインフラストラクチャ(基盤となる設備)なので、維持しなければなりません。その一方で、大きなリスクを抱えていることも、判断するときには知っておく必要があるのではないのでしょうか。

原発の事故がありながらも、また原子力発電所をつくらうとしているのは、資源がなくて仕方がないことかもしれないが、本当に責任をとれるのか疑問に思った。日本は地震が

原発はおそろしいものだが、以前、発電方法について学んだ際に、どのやり方にも原発が「いちばん便利な発電方法だ」と思った記憶があるが、それと同時に、問題が起きたときに一番被害が大きい方法だとも思っていた。だからこそ、原発の仕組みについて詳しく知らなければならぬ。

3. 選択

る。選択を避けたくなるほど選択を難しいと感じてしまう原因の1つに、その選択について無知であるから考えられないというものがあると思う。それをふまえると、選択のために勉強するというのは、まさにその通りだと思った。原子力発電は重大なリスクがあるが、少量の原子で大きな発電ができるメリットもある。Pros & Consの考え方のように、物事を多角的に見た上で何事も判断していきなさい。はい！ 沢山知った上で正しく判断していきなさい。

4. 独裁制

今日の授業の始めでなぜ独裁者が誕生してしまったのかということについて学び、それについては前々から考えたことがあって自分の思考の放棄から起こることとは知っていたので改めてこのことについて学べてよかった。永久

民主主義は不完全で面倒です。ソクラテスはそれで死にましたし、チャーチルも首相を降ります。でも、独裁政治よりはずっとマシだ、と、よく言われます。

5. 永久機関

永久機関はできそうな気がしますね。それにつけ込んだ詐欺はズーッと昔からあります。気をつけて下さい！

いい感じの！ 面白いと思っただけ。永久機関の話は毎回それらしいものが出てくる度にワクワクするが、できないものだからといってできそうでは無い気がする。その結果、今でも詐欺の材料にはなる。